

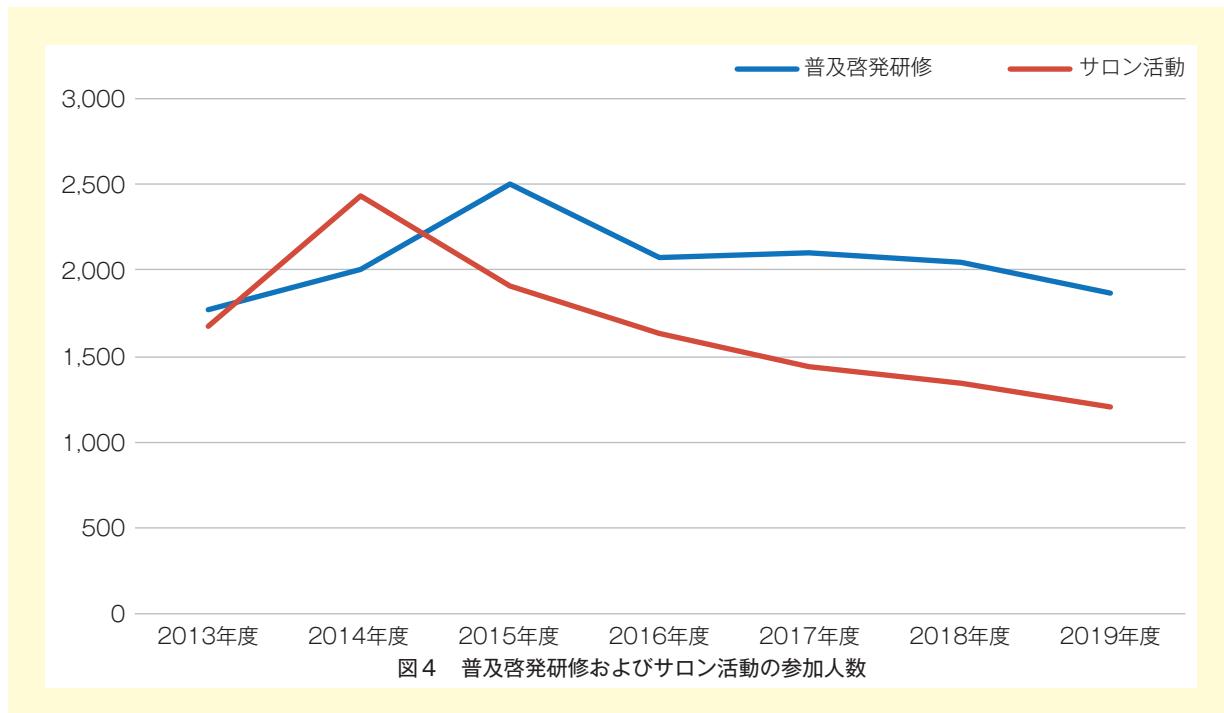
3. 普及啓発

当センターでは、一般住民向けの研修会、講演会の開催、被災地住民等を対象としたサロン活動に取り組むことで、心の健康に関する情報発信および啓発を行ってきた。

(1) 普及啓発研修およびサロン活動の参加人数（図4）

当センターが2013年度から2019年度までに行った普及啓発研修およびサロン活動の参加人数を図4に示す。

普及啓発研修は2015年度をピークに、サロン活動は2014年度をピークに徐々に減少している。



(2) 普及啓発研修のテーマごとの実施回数（表2）

当センターが2013年度から2019年度までに行った普及啓発研修のテーマごとの実施回数を表2に示す。

「アディクション問題（アルコールについて）」「ストレスと心のケア・セルフケア」の普及啓発研修は、2014年度以降に増加し、2016年度にピークとなった。2017年度より実施回数は減少してくるが、実施回数は現在においても多い。これらのことから、この2つのテーマについては地域の関心が高いといえる。

表2 普及啓発研修のテーマごとの実施回数

主なテーマ	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
震災後の心の反応	7	3	2	2	2	1	0
精神疾患について	10	11	4	1	1	6	7
ストレスを抱える人に接するときの注意点	2	2	3	0	2	3	4
話を聞く場合の基本技術（傾聴等）	2	2	3	0	2	3	4
遺族の方への対応について	0	0	0	0	0	0	0
アディクション問題について	4	12	24	21	25	26	20
アルコールについて	4	12	24	21	25	26	20
その他アディクションについて	0	0	0	0	0	0	0
震災が子供にもたらす影響	1	4	1	4	7	3	9
ストレスと心のケア・セルフケアについて	12	21	41	75	34	30	26
体の健康について	8	6	11	0	0	0	0
職場のメンタルヘルスについて	5	3	9	15	13	3	2
被災地の状況とセンター活動について	3	1	1	5	0	3	1